



あしたか太陽の丘

発行所
 (福)あしたか太陽の丘
 静岡県沼津市宮本5-2
 TEL (055) 923-7850(代)

E-mail ashitaka@a-taiyou.jp ホームページ <http://www.a-taiyou.jp/>

障害者支援施設/あまぎ学園・ワークスうしげせ・かぬき学園・ワークスとおがさ・静岡県立富士見学園 障害福祉サービス事業所/クリエート太陽
 共同生活援助事業/コムユート浮島・西井出・井上・岡宮・下香貫・宮本・ファミリーコ西椎路・ふたせがわ・原・まつなが・さくら・なおや・宮本・原団地・片浜・サンライズ宮本・西椎路・まつなが
 相談支援/総合地域サポートセンターひまわり 障害者就業・生活支援センター事業/障害者就業・生活支援センターひまわり
 地域生活定着促進事業/静岡県地域生活定着支援センターひまわり 沼津市障害者相談支援事業/生活支援センターあしたか 公益事業/研修センター



理事長就任の御挨拶

理事長 宮城島 好史



平成30年6月22日をもって退任された杉山嘉章前理事長の後任として、あしたか太陽の丘の第9代の理事長に就任いたしました。

もとより、浅学非才の身ではございますが、役員を始めとする関係の方々のご助言と職員の御協力をいただき、諸先輩方の足跡をたどりながら、法人の更なる発展に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、あしたか太陽の丘は、静岡県の東部地域に、地域交流や社会参加を進める新しい総合福祉施設を求める県民の声を受け、企業への法人県民税を1%上乘せる超過課税を財源とし、5年の歳月と、当時としては巨額な70億円余の事業費をかけて建設いたしました。昭和53年、最初の施設であるあまぎ学園が開所し、それから数えると本年度で40周年という節目の年を迎えます。

この40年の間に、障害者への支援制度は、措置制度から支援費制度へ、そして平成18年の障害者自立支援法の制定、さらには平成25年の障害者総合支援法の施行など、大きく変化してまいりました。

あしたか太陽の丘も、そうした変化する制度や、重度化、重複化、高齢化する利用者のニーズに的確に対応してまいりました。この変化する40年の間、支えてくださった地域を始めとする関係者の方々、諸先輩と職員の努力に改めて感謝と敬意を表したいと思います。

今後も、急ピッチで進む少子高齢化、生産年齢人口の大幅な減少と人口減少社会の進展など、社会の大きな変化に応じ、時代に合った法人の運営に全力を尽くしてまいります。

あしたか太陽の丘のあゆみ

法人のあゆみ

昭和52年8月
社会福祉法人あしたか福祉会設立

昭和51年、当時の静岡県知事山本敬三郎氏が、障害者が社会参加を目指すための施設の必要性を訴え、県民生部社会課に準備室を設置したのが法人設立の始まり。

昭和53年5月
あまぎ学園開所!



昭和55年 第1期生卒園
あまぎ学園
昭和54年 かめき学園開所
昭和53年 あまぎ学園開所

昭和 START

当時の出来事

昭和51年 身体障害者雇用促進法 改定
昭和52年 初の車椅子の国会議員 誕生

あまぎ学園開所当時、他施設は建設途中であった。作業場が仮設のものだったため、開所後しばらくは職員、利用者が一緒に施設外の整備や畑の開墾を行った。



昭和53年 調整池側からの撮影

昭和54年 「ドラえもん」放送 開始
昭和53年 ディスコブーム

法人のあゆみ

平成2年 太陽の丘¹に変更 法人名を「あしたか」
平成3年 ショートステイ事業 開始
平成4年 かめき・とおがさ菊花 展開開始
平成6年 菊花展から文化展へ名 称変更
平成7年 法人文化祭開始
平成8年 あまぎ学園調理訓練室 完成
平成10年 太陽の丘20周年
平成11年 あしたかワークセン デイサービス事業開始
平成12年 アンダー・夢開店
平成13年 とおがさ作業所↓ ワークスとおがさ とおがさ作業所↓ アンダー・夢開店
平成14年 開設 「3級ヘルパー」を 「ビルメンテナンス」、 あまぎ学園の訓練科目 たか開所 生活支援センターあし 名称変更 ワークスうしぶせ うしぶせ作業所↓ ワークスとおがさ
平成15年 法人内LANシステム が行う(とおがさ屋 購買の運営をとおがさ 「支援員」に変更 職名を「指導員」から
平成16年 開設

平成 START

当時の出来事

平成元年 ソウルパラリンピック 開催(正式にパラリ
平成3年 SMAPが Nピックとなる)
平成5年 CDデビュー 皇太子ご成婚
平成6年 障害者白書を初刊行 障害者プランに基づく から改正) 身障害者対策基本法 障害者基本法制定(心
平成7年 阪神淡路大震災 精神保健福祉法制定 障害者プラン策定
平成9年 介護保険法制定
平成10年 長野パラリンピック開 催 知的障害者福祉法に名 称変更 乙武洋匡「五体不満足」 発売
平成11年 新エンゼルプラン策定
平成12年 福祉事業法から改 正) 社会福祉法制定(社会
平成13年 改正成年後見制度施行

「アンダー・夢」とは、ポルトガル語で「夢に向かって進む」という意味

あまぎ学園第一期生卒園



あまぎ学園初の卒園式。2年間の訓練を終えた68名が卒園した。

- 昭和55年 とおがさ作業所開所
- 昭和56年 うしぶせ作業所開所
- 昭和57年 浮島寮開所
- 昭和58年 プール完成
「太陽の丘」落成式
- 昭和58年 開始
電算技術者養成事業



S58.4.5 利用者入園式と並行し、購買がオープンした。

- 昭和59年 常陸宮殿下視察
- 昭和60年 福祉体験初開催



当時と現在の福祉体験の様子



- 昭和63年 あしたか福祉会
- 10周年

- 昭和56年 国際障害者年
- 昭和57年 障害者に関する世界行動指針
- 昭和58年 線開業
東北新幹線・上越新幹
- 昭和59年 宇都宮病院事件
長期計画
障害者対策に関する
- 昭和61年 ラソン開催
第1回静岡オレンジマ
- 昭和62年 障害基礎年金創設
- 昭和63年 日本初の衛星放送
- 昭和64年 国連障害者の十年
- 昭和65年 ファミンコン発売
- 昭和66年 宇都宮病院事件
- 昭和67年 長期計画
- 昭和68年 障害者対策に関する
- 昭和69年 線開業
- 昭和70年 東北新幹線・上越新幹
- 昭和71年 障害者に関する世界行動指針
- 昭和72年 国際障害者年



- 昭和62年 精神保健法制定
- 社会福祉士法及び介護福祉士法制定
- 老人保健法改正
- ダイアナ妃来日
- 携帯電話レンタル開始

- 平成16年 総合地域サポートセン
- 平成17年 障害者就業・生活支援
- 平成18年 入所事業開始
- 平成19年 座・廃止、「2級ヘル
- 平成20年 「3級ヘルパー」養成講
- 平成21年 入所事業開始
- 平成22年 センターひまわり
- 平成23年 クリエート太陽開所
- 平成24年 通所事業開始
- 平成25年 ターひまわり開所
- 平成26年 計画の電算化開始
- 平成27年 整備、事務や支援

1000人突破！太陽の丘からの就職者

- 平成20年 太陽の丘30周年
- 平成21年 静岡県立富士見学園の運営を受託
- 平成22年 静岡県地域生活定着支援センターひまわり開設
- 平成23年 かぬき・とおがさ改築
- 平成24年 工事開始
- 平成25年 かぬき・とおがさ改築
- 平成26年 工事終了、引越
- 平成27年 ともがさで仮住まい
- 平成28年 工事開始(旧かぬき・あまぎ・うしぶせ改築)
- 平成29年 工事終了、引越
- 平成30年 ともがさで仮住まい
- 平成31年 工事開始(旧かぬき・あまぎ・うしぶせ改築)



- 平成24年 工事終了、新施設へ
- 平成25年 ともがさで仮住まい
- 平成26年 工事開始(旧かぬき・あまぎ・うしぶせ改築)
- 平成27年 工事終了、引越
- 平成28年 ともがさで仮住まい
- 平成29年 工事開始(旧かぬき・あまぎ・うしぶせ改築)
- 平成30年 工事終了、引越
- 平成31年 ともがさで仮住まい
- 平成32年 工事開始(旧かぬき・あまぎ・うしぶせ改築)

- 平成13年 敬宮愛子様誕生
- 平成14年 日韓ワールドカップ
- 平成15年 新障害者プラン策定
- 平成16年 障害者支援費制度施行
- 平成17年 発達障害者支援法施行
- 平成18年 国連が障害者権利条約
- 平成19年 東海道新幹線「品川駅
- 平成20年 障害者権利条約
- 平成21年 障害者自立支援法改正
- 平成22年 障害者自立支援法改正
- 平成23年 東北新幹線が全線開業
- 平成24年 障害者虐待防止法施行
- 平成25年 新東名長泉沼津イン
- 平成26年 ターチエンジ開通
- 平成27年 障害者総合支援法施行
- 平成28年 障害者権利条約批准
- 平成29年 東名愛鷹スマートイン
- 平成30年 障害者権利条約批准
- 平成31年 東名愛鷹スマートイン
- 平成32年 障害者権利条約批准

あまぎ学園取り壊しの前に、自分の居室に感謝の気持ちを書いて記念撮影！

祝40周年!

平成29年 SMAP解散

相模原障害者施設襲撃事件

障害者差別解消法施行

ターチエンジ開通

東名愛鷹スマートイン

障害者権利条約批准

平成28年 東名愛鷹スマートイン

平成27年 障害者権利条約批准

平成26年 障害者権利条約批准

平成25年 障害者権利条約批准

平成24年 障害者権利条約批准

平成23年 障害者権利条約批准

平成22年 障害者権利条約批准

平成21年 障害者権利条約批准

平成20年 障害者権利条約批准

平成19年 障害者権利条約批准

平成18年 障害者権利条約批准

平成17年 障害者権利条約批准

平成16年 障害者権利条約批准

平成15年 障害者権利条約批准

平成14年 障害者権利条約批准

平成13年 障害者権利条約批准

NOW!!

40周年 記念インタビュー



就職先での一枚
現在なんと勤続38年！

Q1 昔を振り返って、思い出に残っていることは？

辛かった思い出がでてきちゃうなあ～ランニングの時にスタートが遅いと、ペナルティでもっと走らなきゃいけないくて、へとへとだったよ～。

Q2 後輩に伝えたいこと

急がなくていい！ゆっくりでいいから新しい環境に慣れたらいいと思うよ！

Q3 太陽の丘について一言!!

おめでとうございます！太陽の丘が、これからも長く続いてくれると嬉しいです。



楽しかった旅行



あまぎ学園入所時の
永井さん

Q1 昔を振り返って、思い出に残っていることは？

私は、あまぎ学園の1期生です。あまぎ学園を卒園した後は、うしぶせ作業所に入所しました。

大変なこともあったけど、かぬき学園を利用している時も良かったなあ。

太陽の丘での1番の思い出は、職員や他の利用者と北海道にツアー旅行に行ったこと！楽しかった！



菊花展で一枚
昔からダンディー♡



太陽の丘入所前

Q1 昔を振り返って、思い出に残っていることは？

障害者スポーツ大会「車椅子スラローム」で金賞！「ソフトボール投げ」3位！職員と一緒に練習を頑張った。サポートしてくれた皆様に感謝しています。

とがさに入所して初めて、皆で愛知旅行に行ったことは印象に残っているかなあ～。とっても楽しかった！

Q2 後輩に伝えたいこと

自分の障害と向き合いながら、とにかく健康で、周りとの良い関係を築きながら楽しく生活を送ってもらえればいいかな。

Q3 太陽の丘について一言!!

永遠に存続して行ってほしい！

テキヤがとっても
お似合いです♡



3×年前……

Q1 太陽の丘での思い出、印象深かったことは？

1番の思い出は、関わりの深かった利用者が、退所するときに異動先まで別れの挨拶に来てくれたこと。(泣きそうだった……)

昭和53年当時、業務車がトラック、ライトバン、原付1台しかなかった。トラックは農耕班が使って、地域に出る時には原付で移動してた時代もあったな～。

Q2 過去おこった最大の事件は?!

総務課の事務員だった頃、事務所で入所利用者と一緒にいたら、施設でその利用者の捜索が始まっていたこと。施設の動きを知らなかったので、捜索の知らせを聞いたときは焦った(笑)

Q3 太陽の丘について一言!!

さらなる進歩を遂げて欲しい！

設立当時から施設を知っている4人の方に突撃インタビュー! 当時の思い出からこれからの希望まで、色々伺いました♪



1人暮らしを満喫♪

あまぎ学園OB
たかだ かずひと
高田 一仁 さん

Q4 現在はどんな生活を送っていますか?

アパートで一人暮らしをしながら、福祉施設で働いています。9時から13時まで洗濯を頑張ってるよ!

Q5 自慢できることを教えてください。

広瀬すずちゃんと誕生日が一緒♡

Q6 これからの自分について

自分が好きなことをして、楽しく生活してほしい。映画を沢山見たい。

作業も趣味も
謳歌してます♡



サンライズ宮本
ワークスとおがさ
なが い みちこ
永井 路子 さん

Q2 現在はどんな生活を送っていますか?

今の生活は楽しいです!

Q3 一番楽しいことはなんですか?

テレビを観ながら、手芸(刺し子)をすること。好きなことはテレビ鑑賞で、バス旅の番組が好きです。

Q4 これからやりたいことはありますか?

映画化されるコードブルーのDVDを買ってお部屋で観たい!
コードブルーは大好きです!!



毎日愛車で通所中!



サンライズまつなが
ワークスとおがさ
さい とし
斎藤 敏 さん

Q4 今一番楽しいことはなんですか?

グループホームで生活すること。自由な時間も、趣味の時間も持つ。居心地がいいですよ~。

Q5 これから挑戦したいことはありますか?

陶芸や書道に本格的に取り組みたい!
夢は、囲碁教室を開くこと。古民家カフェなんかで好きな珈琲を淹れるのもいいなあ。

Q6 自慢できることを教えてください。

囲碁3段! 独学で覚え、通信でも勉強した。囲碁をきっかけに人との交流ができて、社会勉強になった。囲碁は自分の中で大きな存在だからこそ自慢できることかな!



総務企画課 課長
さの ひろよし
佐野 宗敬

Q4 今一番楽しいことはなんですか?

美味しいものを食べること。

Q5 自慢できることを教えてください。

性格が穏やかなことかな……

Q6 これから取り組みたいこと、やりたいことは?

海外も含め、旅行へ行きたい! 旅をしたい!

Q7 法人への期待

職員のチームワークをもっと大事にしてもらいたい。
和気あいあいとした環境で働いて欲しいかな!



納涼祭

納涼祭は、昭和57年からあまぎ学園で行われた盆踊りが始まりです。昭和58年には、かぬき学園、とおがさ作業所、うしぶせ作業所の入所者250人が参加する「あしたか福祉会盆踊り」になりました。

あしたか福祉会盆踊りは、利用者と職員が実行委員会となり、様々な意見を出し合い実施されました。売店の設置など、新しい企画を取り入れ、盛大に行われました。

ちょこっとクイズ! 私達は誰でしょう?



ヒント1
愛妻家

ヒント2
どこかの施設長代理

答え▶▶本人に確認してね

昔



昭和60年に、「あしたか福祉会盆踊り」から「納涼祭」へ名称が変わりました。

また、愛鷹地区の地域住民の方にも参加いただき、始めは敷地内グラウンドで実施していた祭りも、厚生年金休暇センターの広場で開催するなど、納涼祭はより大規模に行われました。

地域の方やボランティアとのふれあいの中で、利用者が社会性や活動参加への意欲向上を見い出せるよう、地域住民参加型として企画されました。

現在の納涼祭は、大駐車場（旧身障棟跡）の真ん中にやぐらを立て、周りを模擬店が囲む形で行われています。やぐらを組んだり、テントを張る作業は、あまぎ学園やワークスうしぶせの利用者が職員と一緒にいきます。

やぐらでは、利用者や職員による出し物が行われます。暗くなるとちょうちんに明かりが灯り、暑い夏の夜をさらに盛り上げてくれます。

今



皆が納涼祭で楽しみにしているのは…やっぱり模擬店! ボランティアさんのお手伝いもあり、ゲームや金魚すくい等、色々な模擬店を楽しめます。

例年、納涼祭の締めは打ち上げ花火です! 大輪の花が夜空を彩り、打ち上げ音とともに心に残ります。これからも、花火のような、みんなの心に残る納涼祭を作り続けていきます。



大祭り今昔

文化祭は、スポーツ行事が盛んな反面、文化的な催しが少なく、余暇の充実に向けた新しい取り組みとして菊作りを始め、それを多くの方に見て欲しいという思いから、平成4年、かぬき学園、とがさ作業所が主催する「菊花展」が開かれたことが始まりです。

平成6年に法人全体行事となり名称が「文化展」に代わり、平成7年にさらに「文化祭」と名称を変え、現在に至ります。



会場には色とりどりの菊が飾られました。



昔



かぬき学園、とがさ作業所利用者の余暇として始まった菊作りですが、開始当初はみんな菊作り初心者で四苦八苦……。

職員と利用者が一人一鉢、菊を育てました。菊作りは難しいと言われていますが、菊花展当日は、見事な大輪の花を咲かせて会場を沸かせました。

菊の他には利用者手作りの手芸品などが展示され、賑わいを見せました。

現在は多様な模擬店がありますが、文化祭で模擬店が始まったのは平成7年。焼きそば、焼き鳥、コーヒー、ジュース、ポップコーンのラインナップでした。

出し物も、あまぎ学園音楽クラブの合奏や、高校生によるダンス、地区ボランティアさんの舞踊やハーモニカ演奏など、盛りだくさんの内容でした。

地域との交流も定着し、現在でも大勢の方が太陽の丘文化祭に協力してくださっています。



今



文化祭のメインと言えば、各施設の展示です。毎年様々なテーマで、作品作りに力を入れています。利用者はもちろんですが、職員の力の入れ具合も半端じゃありません。平成28年のテーマは文化遺産登録された葦山反射炉、平成29年は四季がテーマでした。

余暇の時間やクラブ活動を利用して、職員も一緒に頑張って制作しています。

今年のテーマはなんだろう？作品を見て当てるのも楽しみ方の一つです♪

ページ左側 開所から現在まで

ページ右側 施設の今後について

現：障害者支援施設
旧：精神薄弱者更生施設

あまぎ学園

●「あまぎ学園」は、昭和53年に太陽の丘（当時あしたか福祉会）で1番始めに開所した施設です。



知的に障害を持つ方が、日常生活の自立を目指すために利用をしています。現在は施設入所支援、自立訓練、就労継続支援B型のサービスを提供しています。



改築前のあまぎ学園居室

平成24年、自立支援法への移行から施設を改築し、居室が個室化されました。

●あまぎ学園では、生活訓練や様々な行事と併せてビルメンテナンスや農園芸、クリーニング等の職能訓練に取り組んでいます。周囲との協調性を育み、地域で生活を送る力を養うことが出来るように支援します。

あまぎ学園を退所した方の多くは、コミュニケーションスキルの向上や一般企業に近づけた就労訓練を受けるために、「ワークスうしぎせ」に移行し、一般就労を目指します。



現：障害者支援施設
旧：重度身体障害者更生援護施設

かぬき学園

●「かぬき学園」は、昭和54年に身体に障害のある方が生活訓練、機能回復訓練、職能訓練等を行い、生活の自立と社会復帰を図ることを目標に開所しました。

現在は、制度改正に合わせて知的に障害のある方も受入れ、内容も訓練的な性格から主体的な生活を支援する場へと変わりました。



当時の機能訓練の様子

●高齢化に伴い医療ニーズの高まりが想定されますが、皆さんが健康的で穏やかな生活を継続できるよう支援していきます。

そして、今後も利用者一人ひとりの声を聴きながら各々の目標や夢を叶えられる施設となるよう取り組んでいきます。



現：障害者支援施設 旧：重度身体障害者授産施設

ワークスとおがさ

●「とおがさ作業所」は、昭和55年に身体に障害がある方が一般就労を目指すための施設として開所しました。



開所時は、入所利用のみで定員70名でしたが、現在は「ワークスとおがさ」に施設名を変更し、施設入所支援40名、生活介護60名になりました。

生産活動を中心に、各種の日中活動を通じて、可能な限り自立した生活が送れるよう支援しています。

●高齢化、重度化が進む中で、利用者に絶えず真心と優しさを持って接し、可能な限り自立した生活が送れるように支援します。

生産活動では、利用者個々の能力に合わせた作業を提供し、働くことを通じて生きがい、やりがいを持って生活できるような支援を提供します。また、様々な創作活動、外出、旅行等の行事を行います。

健康面ではフットケアを始め、歩行訓練、健康講座等を行い、利用者がより健康的で充



実した生活を送ることが出来る施設を目指します。

現：障害者支援施設 旧：精神薄弱者授産施設

ワークスうしぶせ

●「うしぶせ作業所」は、昭和56年に知的に障害がある人が一般就労を目指すための訓練施設として開所しました。



就労先の職域拡大のため、平成18年から2級ヘルパー講座を開設しました（平成24年から介護職員初任者研修）。研修修了後は、高齢者施設でのヘルパー補助業務を行い、スキルの向上を図っています。

開所から平成29年3月までに、562人が就職しています。



第2ワーク建設時の様子

●平成13年に「うしぶせ作業所」から「ワークスうしぶせ」に施設名を変更しました。現在も開設当初の目的を踏襲し、県内各地域の関係機関と連携して就労支援を行っています。

また、社会性を養う一環として自治会活動を行っています。

利用者が中心となり、自分達の生活をより良くするためにルールを決めたり、余暇の計画を立てたりしています。これからも利用者の自主性を尊重した支援をしています。



自治会活動の様子

現：共同生活援助 旧：精神薄弱者通勤寮

●「浮島寮」は、昭和57年に一般就労をしている障害のある方の生活の場として定員20名で開設されました。平成13年に施設名を「コミュート浮島」に変更し、平成24年の制度改正に伴い、通勤寮からグループホームに移行しました。

現在は一般就労の方だけでなく、障害福祉サービス事業所を利用している方も生活しています。



昭和63年 浮島寮

太陽の丘グループホーム

●平成2年に最初のグループホーム柴田荘を開所しました。順次住居を増やし、現在、6事業所18住居（定員88名）を運営しています。

太陽の丘グループホームには、単身生活への移行を目指している方が大勢います。

これからも多くの方が社会資源を活用しながら、地域の一員として自分らしく充実した生活を送れるように支援しています。



単身生活を目指して勉強会や研修に参加しています

沼津市指定特定相談支援事業・沼津市障害者相談支援センター事業 障害者就業・生活支援センター事業 地域生活定着促進事業

●「総合地域サポートセンターひまわり」には、3つの機能があります。

平成13年に障害者の自立と社会参加の促進を目的とした「生活支援センターあしたか」が、在宅で身体障害がある方とその家族を対象として始まりました。平成17年には就労と生活を一体的に支援する機関として「障害者就業・生活支援センターひまわり」を開所、平成21年には矯正施設を退所した高齢・障害により福祉サービス等が必要な方の社会復帰を支援する「静岡県地域生活定着支援センター」の委託を受け、現在3つの支援センターを運営しています。

総合地域サポートセンターひまわり

●ひまわりでは、地域で生活している障害がある方の相談にお応えしています。

相談者の意思を大切にしながら、行政関係機関や事業所と連携して支援を行っています。

相談内容は仕事、生活、人間関係など様々ですが、皆様から気軽に相談していただけるような地域に根ざしたセンターでありたいと思います。



現：障害福祉サービス事業所
旧：知的障害者通所授産施設

クリエイト太陽

●「クリエイト太陽」は、平成16年に地域に暮らす知的に障害のある方の日中活動の場として定員20名で開所しました。

現在は、就労継続支援B型15名、生活介護15名、計30名の定員で運営しています。

活動内容は、開所当初から行っている木工作業に加え、焼菓子製造（マドレーヌ）やアルミ缶のリサイクル、施設内外の洗車を行っています。



●オリジナル製品の開発と販売を促進し、工賃の向上を目指します。

文化活動の他、体力作りや行事を充実させ、利用者の多様化するニーズに応えながら、皆さんが毎日楽しく、安心できるあたたかい施設を作っていきます。



木工雑貨やマドレーヌを作っています♪



障害者支援施設

富士見学園



●「富士見学園」は、平成21年に静岡県から指定管理者として管理運営業務の委託を受け運営しています。

利用者一人ひとりの個性に応じて、地域社会で可能な限り自立した生活を営むことが出来るように支援に取り組んでいます。

日中活動以外にも、地域行事への参加や外出などを積極的に行い、社会性を育む取り組みを行っています。



●利用者の長所や能力を高める支援を目指します。

そのため、利用者の障害特性を理解できるように、

支援力を高めるための内部研修や、情報の「見える化」に取り組んでいます。

毎日笑顔があふれるような生活の場を提供します。



職員会議を「見える化」

会議の流れが確認できるから、わかりやすい！

平成29年度 決算報告

法人単位 貸借対照表
平成30年 3月31日現在

第3号第1様式

Table with columns: 勘定科目, 当年度末, 前年度末, 増減, 勘定科目, 当年度末, 前年度末, 増減. Rows include 流動資産, 固定資産, 流動負債, 固定負債, 純資産, etc.

第1号第1様式

法人単位 資金収支計算書
(自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日

第2号第1様式

法人単位 事業活動計算書
(自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日

Table with columns: 勘定科目, 予算(A), 決算(B), 差異(A)-(B), 備考. Rows include 事業活動による収支, 施設整備等による収支, その他の活動による収支, etc.

Table with columns: 勘定科目, 当年度決算(A), 前年度決算(B), 増減(A)-(B). Rows include サービス活動増減の部, サービス活動外増減の部, 特別増減の部, etc.

平成29年度 苦情の受理・解決の状況

施設名	受理件数	区分別受理状況		苦情内容		解決状況	
		苦情	要望	ケアに關する事項	その他	解決	未解決
あまぎ学園	2	2	—	1	1	2	—
かぬき学園	2	1	1	1	1	2	—
総務企画課	2	1	1	—	2	2	—
合計	6	4	2	2	4	6	0

申出内容(抜粋)	結果概要
朝礼時の連絡事項が紙を掲示するだけで、口頭で伝えてもらえないことがある。 (例) 朝食時間の変更、連休中の日課、スポーツ行事のチーム分け等	朝礼時における利用者への連絡事項は、掲示だけではなく、口頭でも報告することを職員に周知徹底しました。

※受理した6件の苦情は29年度中に解決しました。ご意見ありがとうございました。

職員研修

あしたか太陽の丘では、職員の支援力向上のために、年に数回、職員研修を実施しています。

昨年度は、利用者の権利擁護に重点を置き、施設の危機管理とリスクマネジメントについての講義や、人権啓発センターによる人権の基礎、アンダーマネジメントを学ぶ機会を設けました。



アンダーマネジメント講座



職員全体研修

30年度の職員全体研修(5/19実施)では、(福)藤沢育成会の河原雄一様を講師としてお招きし、障害者支援の基本と障害福祉サービスについてご講義いただきました。その中で、組織としての課題解決について触れていただき、福祉職員としての

心構えや、他職員との連携の大切さを再確認することが出来ました。

今後もあしたか太陽の丘では、その時のニーズに合った研修を実施し、自己研鑽に励んでまいります。



グループワーク中…意見が飛び交います!

ご寄付・ご寄贈いただいた皆様

- 東静岡ヤクルト販売株式会社 様
ヤクルト65
- 小野 貴 様 お茶
- 沼津茶手揉保存会 様 お茶
- ミニストップ株式会社 様
海鮮恵方巻
- コミねっと大岡「わたりの会」 様
雑巾



ありがとうございました。

採用・インターンシップ情報

平成30年度及び平成31年度の職員募集については、あしたか太陽の丘ホームページの「求人情報」またはマイナビ2019をご覧ください。

また、大学・短大・専門学校等の全学年を対象としたインターンシップも行っています。詳細はマイナビ2020に掲載しています。「マイナビ2020 あしたか太陽の丘」と検索してください。

問合せ先 ☎ 055-923-7850

総務企画課（佐野・八柳） 受付時間 平日9:00～17:00



マイナビ2019

赤い羽根共同募金のお礼



「赤い羽根共同募金」の配分金で、太陽の丘にカローラ・フィールダーが入りました。

車両は、通所利用者の送迎や作業の納品などに使用しています。

募金をしていただいた皆様の温かい気持ちと共に、大切に使用させていただきます。

募金へのご協力、ありがとうございました。



赤い羽根
共同募金